
2024.11.1 令和6年度まちづくり専門家交流会

「お宮町」まちづくり協議会の 活動支援に関する報告

都市デザインワークス / 青葉区地域力推進担当

1 「お宮町」の紹介、まちづくりの目的・経緯など

2 派遣期間の活動と専門家の関わり（役割）について

3 現在のまちづくり協議会の活動の紹介

4 これまでを振り返って 所感（口頭にて）

はじめに・・・「お宮町」ってこんなまちです！

春



仙台東照宮 春の例祭
れいさい
東六小の桜と音楽を愛でる会など

夏



仙台七夕まつり、東六夏祭り
まんとうかい
万燈会（3年に1回）など

秋



お宮町秋まつり

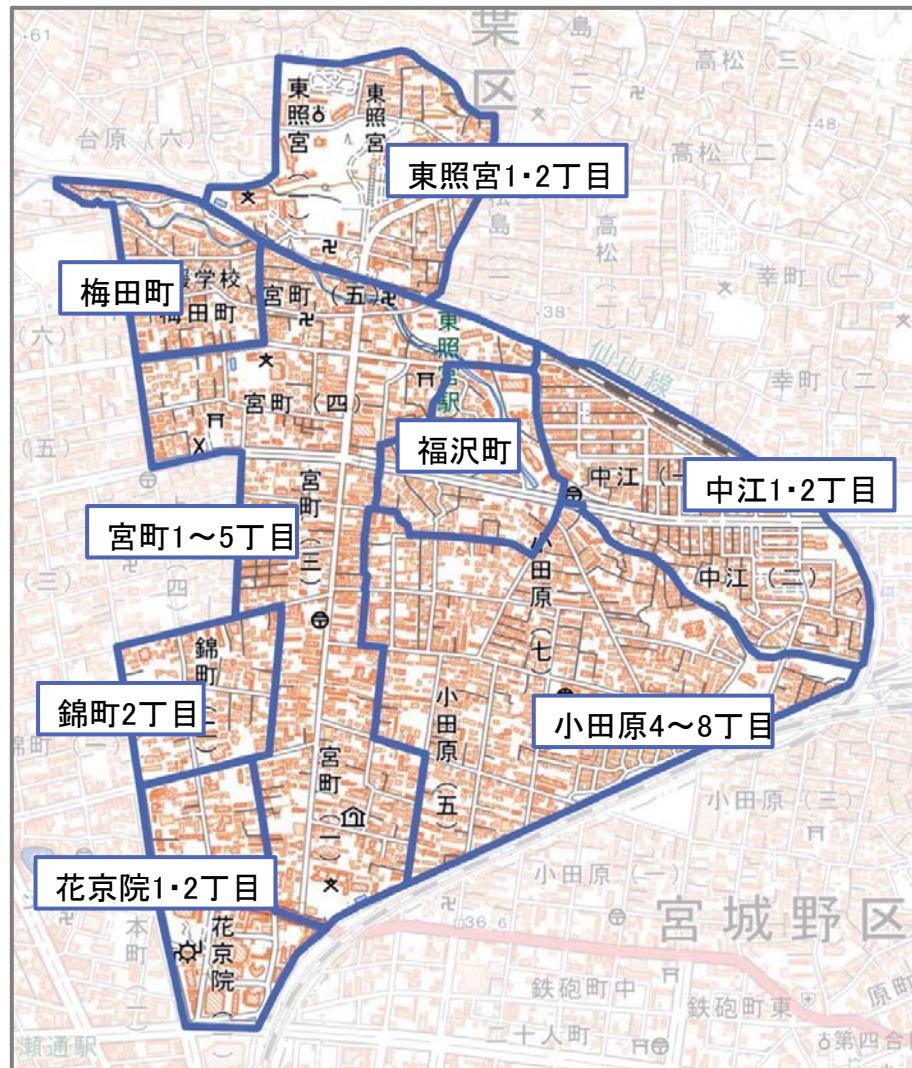
冬



どんと祭、節分祭

落ち着いた歴史的雰囲気があり、住民同志の交流も盛ん、利便性も良い

はじめに・・・「お宮町」ってこんなまちです！



落ち着いた歴史的雰囲気があり、住民同志の交流も盛ん、利便性も良い

「お宮町」まちづくり協議会の目的

《目的》（発足当時・2021年資料より）

- ・門前町にふさわしい活気に満ち、安全・安心な宮町（宮町通り）の実現に向けて、その歴史的・文化的価値を改めて確認・共有しながら、地域に必要な取り組みや「無電柱化」を含めた宮町・宮町通りのあり方などについて、専門家の知見を取り入れながら、地域主導で明らかにする。



仙台東照宮



仙台東照宮から眺めた宮町通り

「お宮町」まちづくり協議会の動き

2021年度 準備会を経て協議会が設立

←アドバイザー派遣

2022年度 まちづくり計画の「骨子」作成

←アドバイザー派遣

その検討過程で「分科会」を設立

2023年度 まちづくり計画の策定

←コンサルタント派遣

- ・分科会活動も継続
- ・住民アンケートも実施

2024年度 少しずつ活動を実践中

←計画策定後の
フォロー（年2回）

- ・まち歩きプロジェクト（まちプロ）
区のまち活性化助成を得て実施中
- ・こまもりハロウィン

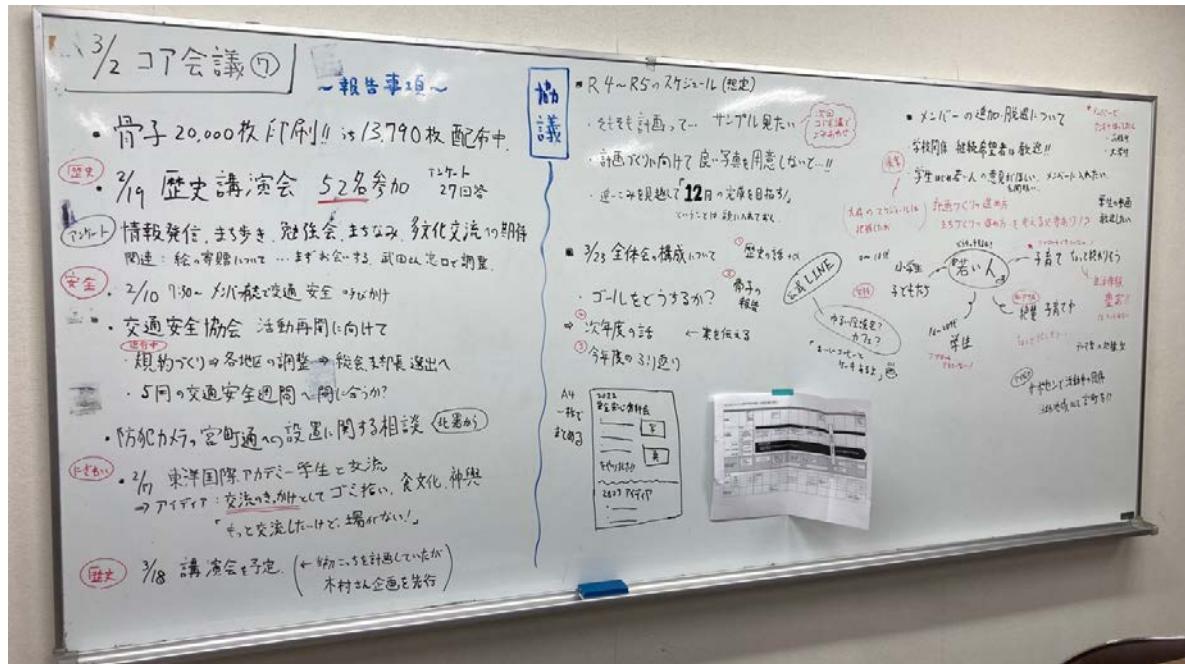
まちづくり協議会の 月一回のコア会議

(10数名 + 青葉区)



当日の資料や進行は
事務局（地域）が担当

都市DWは資料提案、
記録、進行補助など



ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

2021年7月 「お宮町」まちづくり協議会が設立

「お宮町ってどんなまち？」を
テーマにワークショップを企画

地域の魅力・好きなところ
課題・気になるところを出し合った



歴史を伝え
未来をつくるお宮町
～多様な住民の知恵による
参画型のまちづくりへ～

「お宮町」まちづくり協議会 / まちづくり計画

「お宮町」まちづくり協議会は、地域住民が自らまちづくりに取り組む核として 2021 年 7 月に結成されました。住民同士の顔が見え、交流が促進され、暮らしやすく活性化した街。宮町をそんな街にすべく、「安全・安心」「歴史・伝統」「交流・賑わい」の 3 つのテーマを掲げ、活動を進めています。

今回、協議会の中間報告をまとめましたのでご一読いただき、これからのお宮町のまちづくりに参画いただければ幸いです。

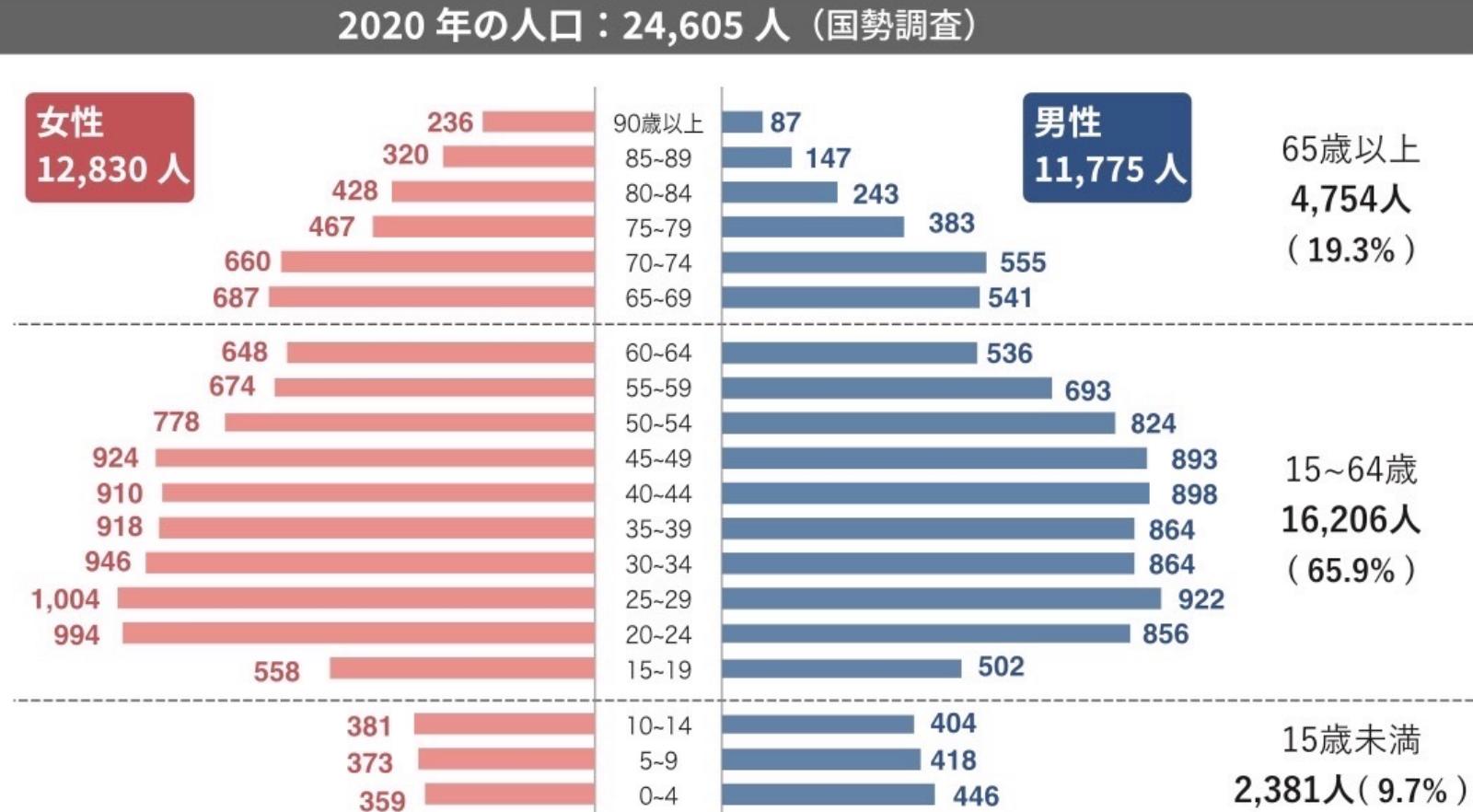
発行：「お宮町」まちづくり協議会 協力 青葉区まちづくり推進課（地域力推進担当）、都市デザインワークス



2023年2月
まちづくり計画の骨子が完成

ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

基礎データを整理して示しつつ、まちづくりの課題・テーマなどを検討



*データの範囲：東照宮、梅田町、福沢町、中江、宮町、小田原 4~8 丁目、花京院、錦町 2 丁目

ワークショップや会議を重ねて、悩みや思いを引き出し、まとめる

お宮町まちづくり計画 骨子 ~コンセプト『歴史を伝え 未来をつくる お宮町』~

テーマ①安全・安心

- 「お宮町」の魅力・強み
- ①子育てしやすい地域
 - ・子どもを見守る地域の人が多い
 - ・教育の環境が良い
 - ・施設・公園などがある
 - ②落ち着いていて暮らしあしやすい
 - ・静かな住宅地、文教地域
 - ・都心に近く、交通の利便性もよい
 - ③地域の連携がある
 - ・PTAで地域の安全マップ等を作り、危険箇所の周知をしている
- 「お宮町」の課題・弱み
- ①歩行者・自転車の安全の確保が必要
 - ・危険なブロック扉の周知が足りない
 - ・自転車専用通行帯が危険。自転車の安全の確保ができていない。
 - ②交通ルールの周知徹底が足りない
 - ・逆走、一時停止無視等の自転車多発
 - ③もしもの時の安心の確保
 - ・避難所のあり方の再検討が必要
 - ④言葉の問題もあり、外国人との連携・交流が難しい

安全・安心 × お宮町の将来像

◆ 相互の思いやりを通じて安全・安心な町をつくる

- ・車やバイク、自転車、歩行者それぞれがルールを正しく知り、守ることでお宮町の安全安心を確保する。

◆ 安心して通行できるような歩道・車道の確保

- ・歩道の電柱や大きな木の根の隆起、走りにくい自転車専用通行帯など、お宮町エリアの危険箇所を改善し、通行する人たちの安全が確保できるような歩道・自転車道・車道をつくる。
- ・危険な交差点や車道にはミラーやグリーンベルトなどの対策を行う。

将来像を実現するために取り組みたいこと

- お宮町の全体的な「交通・防犯・防災マップ」の作成
 - ・東六地区・北六地区それぞれで作成されたマップを一本化し、地域全体で共有する。
- 不審者などの情報を共有し、子どもから大人までが安心して生活できるように、地域の連携を強化
 - ・交通安全協会の復活：現在休止している交通安全協会を地域の力で復活し、皆で協力して活動をする。
 - ・交通ルールの徹底：ルールブック（多言語を含む）の配布や交通安全教室の実施、交通ルールの広報のためのキャベーンの実施
- 歩道・車道の整備の提案
 - ・自転車が逆走しないように、標識や横断自転車道などの整備
 - ・電柱の除去や樹木の伐採による歩道・自転車道・車道の整備

テーマ②歴史・伝統

- 「お宮町」の魅力・強み
- ①歴史・文化を感じられる
 - ・昔ながらの雰囲気・レトロ感があり、古さと新しさが混在している
 - ・仙台唯一の武家屋敷（安藤家）が残る
 - ②身近に東照宮がある
 - ・御宮町・門前町として発展した町
 - ・ヒーリングスポットでもある
 - ・東照宮は緑も豊か
 - ③東照宮からの景色、東六番丁小学校のエドヒガンザクラ、梅田川が自慢
 - ④仙台駅に近い。学校も多い

歴史・伝統 × お宮町の将来像

◆ もっと歴史を感じられる地域、歩いて楽しい地域に

- ・地元の名跡を訪ね歩く「探訪会」の実施、新たな探訪コースの開発
- ・お宮町の昔の写真・思い出話、行事の蒐集

◆ もっと「縁」が感じられる地域に

- ・東照宮根添堀の市民の手による清掃（ホタルも横める水の流れるお堀へ）
- ・東照宮裏手の堀や馬柵跡を整備し、新たな散策コースとしてPR

将来像を実現するために取り組みたいこと

- 「お宮町」の歴史を知り、未来に伝える活動（歴史ボランティアの養成）
 - ・時間（年表）と空間（地図）からみた「お宮町」の歴史を紹介したい。
 - ・大人向け：探訪会の実施
 - ・子ども向け：クイズ形式（お宮町検定など）
 - ・ポケモンGOならぬ「お宮町」GO（地図手にオリエンテーリング）
 - ・若者によるSNSを使ったお宮町の紹介
 - ・地元の小・中・高・大学生などと一緒に、お宮町に関する証言の募集活動
 - ・冊子「お宮町」の読書会の実施
- 「お宮町」の景観整備、仙台東照宮の緑地をPR
 - ・宮町通りの無電柱化、通りに面した建物の色調の統一、「お宮町」のシンボルとなる鳥居や灯籠などの設置（東六小の前、宮町中心など）
 - ・季節ごとの催し、新たな散策コースの整備、四ツ谷用水の勉強会

テーマ③交流・賑わい

- 「お宮町」の魅力・強み
- ①町並みが門前町風ではなくなった
 - ②電柱があることによる、景観への弊害を感じる
 - ③地元の名跡等の由来や歴史を知らない住民が増えた
 - ④一方通行や行き止まりが多く、街の個性が分かりにくく
 - ⑤宮町通を車で通り過ぎるだけの住民が増えた（歩く人が減った？）

交流・賑わい × お宮町の将来像

◆ 若者が住みたくなる地域に

子育てしやすい環境と、チャレンジできる宮町商店街という強みを活かし、商店街と地域に住む若者が交わる環境を作る。
その環境が新たな交流を生み出し、活動を地域に落とし込むことで賑わいを創出し、未来に歴史を受け継ぐ『後継者不足』を作り続ける。

◆ 次世代の発想で新しい宮町をつくる

将来も賑わう町になり続ける為に、若者が住みたくなるような魅力を地域に落とし込みたい。景観を崩さず、宮町・東照宮に既にある強みを若者向けの文化（サバカルチャー・SNSなど）の視点から捉言頂き、景観や行事を地域と若者で考えて賑わいを作る。

将来像を実現するために取り組みたいこと

- 子ども・大人・外国人の交流を増やす活動
 - 『地域の子どもたちの成長』をテーマに、夢や目標を持って社会に挑戦する自立した子どもに育てられるような活動を地域が応援する。
 - ・宮町の歩行者天国の実現
 - ・地域を盛り上げるすすめ踊りの団体の設立
 - ・外国文化の交流会・宮町の文化と歴史が知れる体験型のイベント
 - ・子供が主体となる職業体験イベント（仮想通貨を利用した売り買いなど）
- 元ある行事を地域で見直し、更に大きな賑わいをつくる
 - 七夕や祭などの四季の行事を、若者や外国人の視点から考えて頂き、発想を広げてみる。『宮町らしさ』を軸に、1つのイベントを地域全体で作り上げることができれば、四季を共有しながら関わった人たちも集まるイベントになり、大きな賑わいをつくることに繋がる。

皆さんの発意で、分科会が設立。各分科会が活動をスタート

骨子の内容をベースに
分科会活動をスタート



分科会活動を通じて
骨子のアップデートを狙った

安全・安心分科会



例えば
お宮町エリアの
安全・安心マップづくり

歴史・伝統分科会



例えば
仙台東照宮のお堀に
清流を再生する活動

交流・賑わい分科会



例えば
国際交流を兼ねた
街の清掃プロジェクト

②歴史・伝統

仙台東照宮の緑地のPR

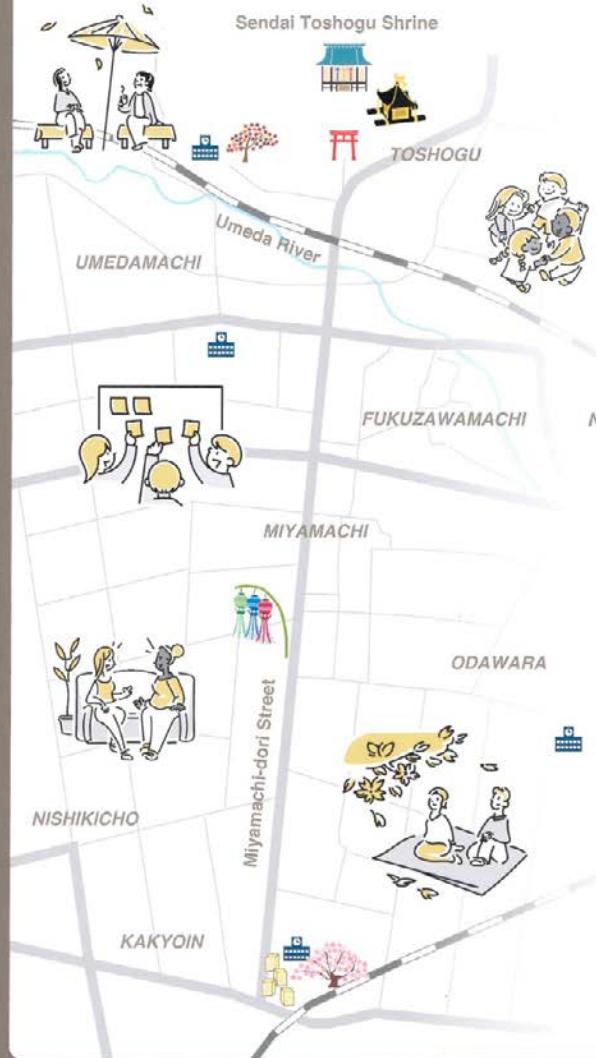
- ・仙台東照宮の根添堀に清流を取り戻す活動を継続します。

「お宮町」らしい景観整備

- ・歴史的な風情が感じられる景観にすることを提案します。



OMIYAMACHI



お宮町まちづくり計画 —歴史を伝え 未来をつくるお宮町—

2023年度 まちづくり計画の策定支援

月1回 コア会議を実施。
どんな将来像や取り組みを掲げるか
一緒に検討を行った。



分科会の現場の活動と
計画づくりの二本立てが
地域にとって負担に…



目次構成からテキストの提案、
編集、デザイン、レイアウトなど
実作業も引き受けた

骨子を踏まえて、目次構成の検討・提案（当時のコア会議資料より）

お宮町まちづくり計画の構成メモ

1) はじめに
・ごあいさつ

2) 「お宮町」について
・地域紹介
・「お宮町」エリアの歴史
・「お宮町」まちづくり協議会とは
・活動のエンジン 3つの分科会

3) この計画について
・制作プロセス（これまでの活動紹介）
・アンケート調査の結果
・この計画の意味合い・位置付け

4) まちづくりのビジョンとコンセプト
・将来こんなお宮町にしていこう など **検討必要**

5) テーマ別にみるまちづくり
・各テーマで、こんな課題／魅力を認識しています
・活動のアイディア
・実際にこれまでしてきた活動の紹介
・何をいつまでに実現したいか など

6) これからのまちづくりに向けて
・まちづくり協議会の今後の役割
・実現していくために必要なものの整理

資料編

たなき台として

230831

表紙

表紙うら 1) はじめに
もくじ



2) お宮町について



3) この計画について

分科会



プロセス



アンケート結果



計画の意味合い

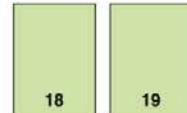
4) まちづくりの
ビジョンとコンセプト
5) テーマ別に見る
まちづくり

・導入ページ

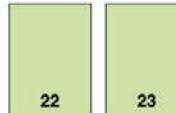
安全・安心



歴史・伝統



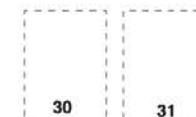
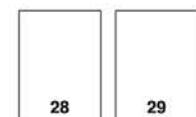
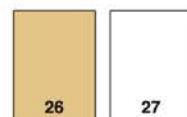
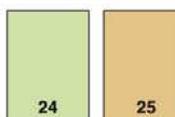
交流・賑わい



・一旦、各分科会で3ページずつと仮定。

6) これからの
まちづくりに向けて

資料編



表紙

編集、デザイン、レイアウトの例

② アンケート結果

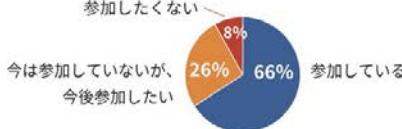
大人アンケート

2023年10~12月、お宮町秋まつりのブースや連合町内会、各学校を通じて広報を行い、ウェブで回答を集めました。215名から回答をもらいました。

まちづくり協議会をご存知でしたか？

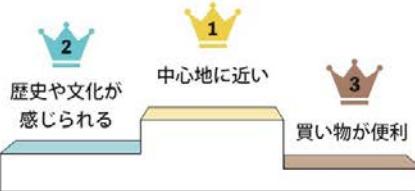


町内会をはじめ、地域の活動に参加していますか？

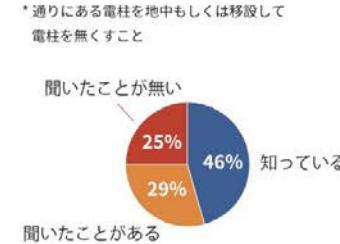


▶ まちづくり協議会の活動内容はなかなか知られておらず、
もっと地域の人たちと一緒にまちづくりを進めることができると感じています。

この地域のいいところ TOP3



無電柱化*のことを知っていますか？



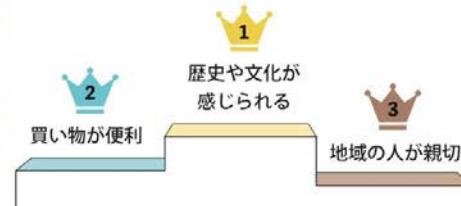
これからの地域の安全・安心のために必要だと思う活動 TOP5

- 1 お宮町に住む外国人向けの生活情報発信
(多言語に対応したゴミ出しや交通ルールブックの配布)
- 2 電柱の地下化（無電柱化）による、歩道・自転車道・車道の整備の提案
- 3 交通ルールの啓発活動
- 4 宮町通りなどに防犯カメラの設置
- 5 不審者などの情報の共有

地域の歴史や伝統を将来に伝えるために必要だと思う活動 TOP5

- 1 歴史伝統の名跡を訪ね歩く
「お宮町探訪」の継続実施
- 2 歴史伝統を題材にした子ども向けのイベント
- 3 SNSを使ったお宮町の紹介
- 4 景観整備（宮町通沿いの無電柱化、建物の色調の統一など）
- 5 新たな散策コースの整備

この地域のいいところ TOP3



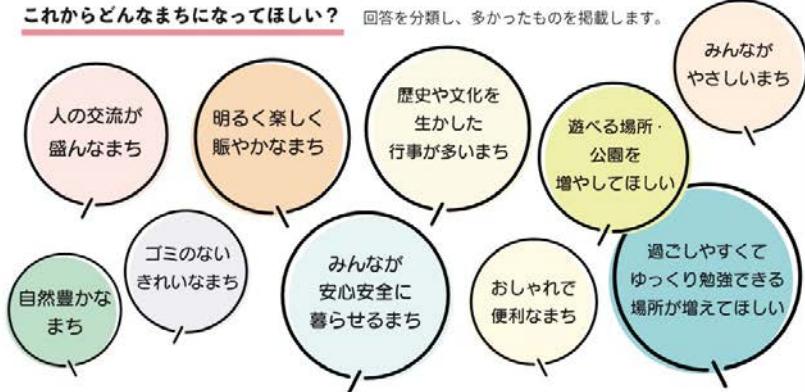
子どもアンケート

子どもたちには①この地域のいいところ
②これから、どんなまちになってほしい?
を考えもらい、505名の声が集まりました。

調査にあたっては
東六番丁小学校、北六番丁小学校、
宮城教育大学附属小学校、五城中学校に
ご協力いただきました。

これからどんなまちになってほしい?

回答を分類し、多かったものを掲載します。



この地域で気になること・改善してほしいこと

- 交通ルールが守られてなくて危ない
- ゴミの散乱（カラス被害）
- 外国人が増えたことが気になる
- 地域の核になる施設が欲しい
- お休み処のような場所があるといい

などの回答が印象的でした。

例えば地域の交流不足を解消できれば、
暮らしの不安の解消にもつながりそうです。

編集、デザイン、レイアウトの例



歴史・伝統 × お宮町の将来像

◆もっと歴史を感じられて、歩いて楽しい地域をつくる

- ・歴史や伝統がある名跡が幾つもある一方で、地域の街並みからはあまり門前町の風情が感じられなかったり、日常生活の中で名跡を訪れるような機会が少なかったりします。そこで、歴史・伝統ある名跡を地域の核としながら、宮町通りをはじめ、街の中に歴史を感じられる場所づくりや活動を広げていき、地域住民も来訪者も歴史を感じながら歩いて楽しめる地域を目指します。

◆もっと「緑」を感じられる地域をつくる

- ・お宮町の歴史・伝統に触れるきっかけを作るには、新しい視点を取り入れることも重要です。そこでお宮町の名跡にある「緑」に着目します。時代と共に育ってきた緑の癒しの空間の活用を推進することで、地域の名跡に足を運ぶきっかけをつくります。



達成したい取り組み

●「お宮町」の歴史を知り、未来に伝える活動

- ・時間(年表)と空間(地図)を切り口に、お宮町の歴史を紹介する活動を実施していくことで、お宮町の歴史を幅広い年代に伝えていけると考えています。

- ・地元の名跡を訪ね歩く「お宮町探訪」の継続実施(新たな探訪コースの開発にも挑戦!)
- ・お宮町の歴史伝統を題材にした子ども向けイベントの開催
- ・SNSを使ったお宮町の紹介
- ・地元の小・中・高・大学生と一緒に、昔の写真と、暮らしや行事の思い出話を蒐集する活動
- ・平成10年に発行された『お宮町』という冊子の読書会
- ・歴史ボランティアの養成

●「お宮町」らしい景観整備

- ・宮町通りを、歴史的な風情が感じられる景観にすることを提案します。例えば宮町通り沿いでの無電柱化や建物の色調の統一などが、魅力ある景観形成に効果的だと考えます。
- ・東六番丁小学校の近くや宮町通りの中央など、お宮町の顔となるような場所に、シンボルとなる鳥居や灯籠などを設置することを検討します。

●仙台東照宮の緑地のPR

- ・仙台東照宮の歴史と緑が織りなす空間の魅力を、さまざまな活動を通じて発信します。
- ・仙台東照宮の鳥居をくぐると、印象的な赤い橋がかかるお堀「根添堀」が現れます。かつては清流が流れていた根添堀の手入れを、市民の手で進めていきます。ホタルが棲めるくらいきれいな水が流れるお堀に再生させたいです。
- ・日常的に緑地を訪れてもらうために、新たに散策コースを整備することを提案します。散策コースの候補は、仙台東照宮の裏手にある堀や馬廻跡です。
- ・他にも、仙台東照宮の緑地を楽しめる季節ごとの催し、四ツ谷用水に関する勉強会など、様々な企画の可能性があります。賛同する人たちと一緒に実現していきます。

〈歴史・伝統分科会からのお知らせ〉



活動紹介の壁新聞

仙台東照宮にある御神橋の「根添堀」に清流を取り戻そうと、清掃活動を企画しています。

2023年7月と10月に実施しましたが、堀の中は泥いっぱい、草ぼうぼうな状態…。泥のかき出しと除草を行い、その数は70~80袋にもなり、達成感がありました。掃除した後は、ちょっとですが水がサラサラと流れる姿が見られ、清流の再生に向けてスタートを切れたと思います。かつてはホタルが生息していたと聞きますので、ホタルが戻ってくる日を楽しみに、今後も続けていきます。ぜひ一緒に活動しましょう！



このほかに分科会では、名跡を訪ね歩く「お宮町探訪」、昭和のお宮町を知る「お宮町なつかし写真鑑賞会」、街歩きの達人・木村浩二さんをお招きした歴史勉強会など、さまざまな企画を実施してきました。「お宮町」は、藩政時代から近現代まで、どの時代の歴史もとても興味深いので、活動のアイディアもたくさん浮かびます。歴史・伝統を切り口に、ぜひ一緒にお宮町のまちづくりを進めていければと思います。

編集、デザイン、レイアウトの例



分科会で話し合い、手書きのマップを作成。
これでも十分素敵なのですが、オーダーを受けて加工することに。

編集、デザイン、レイアウトの例



お宮町 安全・安心マップ

あなたが気づいた点を書き込んで、オリジナルのマップを完成させましょう！

発行：2024年
みやまち
「お宮町」まちづくり協議会
たんとう 安んぜん、あんしんぶんかかい
担当：安全・安心分科会

みやまち

あんぜん

あんしん

■ 進行中の活動

まち歩きガイドの育成を狙った 「まち歩きプロジェクト」

講師を招いての
座学やワークショップ
宮町のフィールドワークを
連続開催中



子どもの安心・安全のための 「子まもりプロジェクト」

荒町の取り組みを参考に
商店街や地域の団体が連携し
子どもたちを見守ろうというもの。

まずは10/23 子まもりハロウィンを企画

